

1 指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
2 指定期間	平成28年4月1日 ～ 平成33年3月31日
3 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4 採点表												
評価項目		細目		配点	採点基準			実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況(40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率 (利用時間/日数 × 営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値 (例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値			開館時間中(10:00～18:00)は自由来館としている。		-	
		②利用人数	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値 (例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値			95%未満 ～ 85%6点	・高学年になるにつれ塾や習い事により来館が難しくなり、小学生の来館者数が減少したと考えられる。 ・学習スペースを利用する目的でほぼ毎日来館していた中学生は、学年上がった事で来館が難しくなり、中高生の来館者数が減少した。 ・保健センター等と連携し広報したことで、乳幼児クラブの人数が増え、乳幼児親子の来館増加につながった。 【28年度】来館者数 10,118人 乳幼児:2,629人 小学生:4,193人 中高生:156人 大人:3,140人 【27年度】来館者数 10,814人 乳幼児:2,439人 小学生:4,518人 中高生:772人 大人:3,085人 【26年度】来館者数 11,526人 乳幼児:2,876人 小学生:5,439人 中高生:310人 大人:2,901人 【25年度】来館者数 13,209人 乳幼児:3,348人 小学生:5,915人 中高生:436人 大人:3,510人 ※来館者数と事業参加者は異なる数え方をしています。		6点			
			平均値比(上記(3)適用) ※今回は指定管理1年目の評価のため、本来は上記(1)を適用するが、25年度に利用人数のカウント方法を見直したため、算出に前指定管理期間(23～27年度)の平均利用人数を使うことは実態とそぐわない。従って、28年度の利用人数で25年度から27年度の3年間の平均利用人数を割ることで平均値比を求める。 85 %≒利用人数(延べ人数 10,118人)÷11,850人									
(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計48回開催、延べ881名参加) ・児童を対象とした事業(計92回開催、延べ1,275名参加) ・地域交流多世代間交流事業(計4回開催、延べ445名参加) ・中高生事業(計7回開催、延べ74名参加) ・子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(計66回開催、延べ578名参加)		仕様書以上 13点	・仕様書の事業をすべて目標回数以上行い、適正に実施した。 ・保健センターや地域と連携を図り、事業を行っている。 ・小学生クラブの発表の場やボランティア活動の場を多く確保し、児童の活躍を地域へ発信することで、地域と児童の関わりを深めた。		13点			
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、 内容・事業数等が例年通り:11～9点、 内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、 内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、 内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計46回開催、延べ1,186名参加) ・児童を対象とした事業(計40回開催、延べ216名参加) ・地域交流多世代間交流事業(計34回開催、延べ816名参加) ・中高生事業(計3回開催、延べ3名参加) ・子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(計0回開催、延べ0名参加) ※別紙:事業評価表 参照		例年通り 11点	・他団体や地域と連携を図り、季節行事や節句行事等を通じて多世代での交流を深めた。 ・地域や保護者のニーズに応え、乳幼児の英語事業を積極的に行った。 ・児童の茶道については人気が高く、クラブ化の検討が進んでいる。 ・「子育て相談事業と子育てネットワーク作りの推進」で事業展開に至らなかったが、その他の項目では有意義な独自の取り組みが実施できた。		11点			

4 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
2	施設管理 状況(25点)	(1)施設管理 業務 の実施状況 (10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の 各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、 適正(普通):6点、 一部不備あり:4点、 不備あり:2点	屋内・トイレの清掃:毎日 ガラス・備品の清掃:週1～2回 照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:週2～3回等の定期清掃、日常清掃を実施。 駐車場を含め、児童館周辺の側道まで、細目に様子を見て清掃。	適正 (普通) 2点	仕様書に定める回数を適正に実施。		10点
			②保守・点検			電気工作物、運動遊具の保守点検は委託により実施。パソコンは随時点検。	適正 (普通) 2点	法定点検、日常点検とともに適正に実施されている。		
			③保安・警備			非常通報装置・消防用設備については、警備会社に委託により実施。	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。		
			④小規模修繕			遊戯室ガラス交換 (3回 38,556円) 円筒錠交換 (3,450回) 一輪車修繕 (645円) 印刷機の修理 (14,148円) 10万円未満であったため、仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕を行った。	適正 (普通) 2点	修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。		
			⑤危険箇所の把握 (施設の瑕疵)			毎月の定期点検により危険箇所の有無について確認。 道路に面している2箇所に「飛び出し注意」看板を取り付け。 館内にハザードマップを掲示。	適正 (普通) 2点	日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。		
	(2)その他管 理業務 の実施状況 (15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の 各項目を4段階評価する (期待以上:3点、 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、重要書類はすべて鍵のついたスチール棚に保管。	適正 (普通) 2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。		10点	
		②環境への配慮			「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、冷房の設定温度を28度に設定し、プール遊びで残った水は打ち水にして暑さ対策にする、施設の南と東側にミストを取り付けた。夏は高窓を開け風通しを良くし、冬は床にマットをひくなど、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 「廃材や消耗品の再利用」 紙はリサイクル紙を利用。関係機関への連絡はメールを利用。 乳幼児クラブや児童の工作材料を、牛乳パックやトレイ、ペットボトル等を利用し、各家庭でも実践できるよう保護者へ提案している。	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。			
		③バリアフリー			入り口や廊下にできるだけ物を置かないようにし、スペースを確保している。 ウォータークーラーには、小さな幼児も利用できるようステップを設置している。	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。			
		④備品管理			備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。			
		⑤個人情報保護			特定非営利活動法人ワーカーズコープとして『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管のうえ管理している。	適正 (普通) 2点	適正に実施されている。			
		⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点 対象とする (事故なし及び事故等の 対応に不備なし:0点、 事故等対応に不備あり: △1点)	・4月に1件、小3女兒が手を強く突いた際に遊戯室のガラスが割れ、右手人差し指付け根を切り出血。 ・7月に1件、小5の男児が遊戯室のガラスを叩き、割れた際に右手人差し指と手のひらを切り出血。 ・8月に1件、小1と小3の兄弟で押された弾みで平均台に後頭部を打ち、出血。	事故なし・対応に 不備なし 0 点		適切な対応がなされ、市への報告も適宜行われた。

4 採点表									
評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点	
3	当該施設の経営状況(5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、 105%以上:5点、 105%未満～100%:4点、 100%未満:3点	収入 10,641,785円 ÷ 支出 9,918,295円 ≒ 107%	105% 以上 5点	経営努力により経費削減をおこなった。	5点
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、 適正(普通):7～5点、 不備あり:4～1点	・窓口に意見箱を設置するとともに、乳幼児クラブ終了時にアンケートを実施し、行事開催後にも感想・意見を聞く場を設けた。 ・乳幼児クラブにて、27年度に実施したアンケート調査をもとに、親子あそびや運動あそびを多く取り入れ実施した。28年度前期のアンケート結果も後期のクラブ内容や29年度の計画に反映させた。	期待 以上 8点	・定期的なアンケートの実施や、利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	特になし。	苦情なし・適正(普通) 4点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・27年度に引き続き、28年度もまなびパークの生涯学習コーディネーター事業を6月から2月にかけて7回共催。公民館がない地域で、公民館に変わる施設利用として中央児童館で実施。 ・地元の関係団体に対し、おたよりやホームページを媒体にして施設の周知等を行い、利用促進に努めた。市の一斉清掃にも積極的に参加し、周辺住民の方々と共に地域の清掃活動を実施した。 ・施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の有資格臨時登録者を完備し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤に対応できるようにした。 ・NPO法人ワーカーズコープでは、『子ども・放課後等デイプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。(28年度…6/28・2/10～11)また11/26～27「全国コミュニティーケア集会」2/25～26「ワーカーズコープよい仕事集会」子育て分科会のほか、年間全国規模の研究交流会を計10回開催。 ・下記の研修会に参加し、伝達研修を行った。 5/20健全育成専門セミナー・6/14～17児童厚生員等基礎研修会(主催:児童健全育成推進財団) 9/12館長研修会・11/2児童館職員等研修会(主催:岐阜県児童館連絡協議会) 7/3ぎふ木育指導者スキルアップ講習(主催:岐阜県恵みの森づくり推進課) 9/7地域子育て支援拠点研修(主催:東濃地域子育て支援センター) 5/23普通救命救急講習(笠原消防署)・2/28防火管理者講習(多治見市消防本部)	期待 以上 14点	・公民館がない地域で、公民館に変わる施設として共催を行った点は評価できる。 ・地域行事への職員の参加や、地域や近隣の神社との積極的な連携を行っている。 ・全国組織である点を活かし、様々な研修に参加し、それを共有することで職員の資質向上に努める姿が見られた。	14点	
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示は特になし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点	
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				81点
								全体的な評価 ・概ね良好な管理がなされている。 ・地元自治会との連携などを積極的に行っている点は、特に評価できる。	良好